

大学図書館の現状と課題

平成22年11月9日
東京大学附属図書館
田中成直

目次

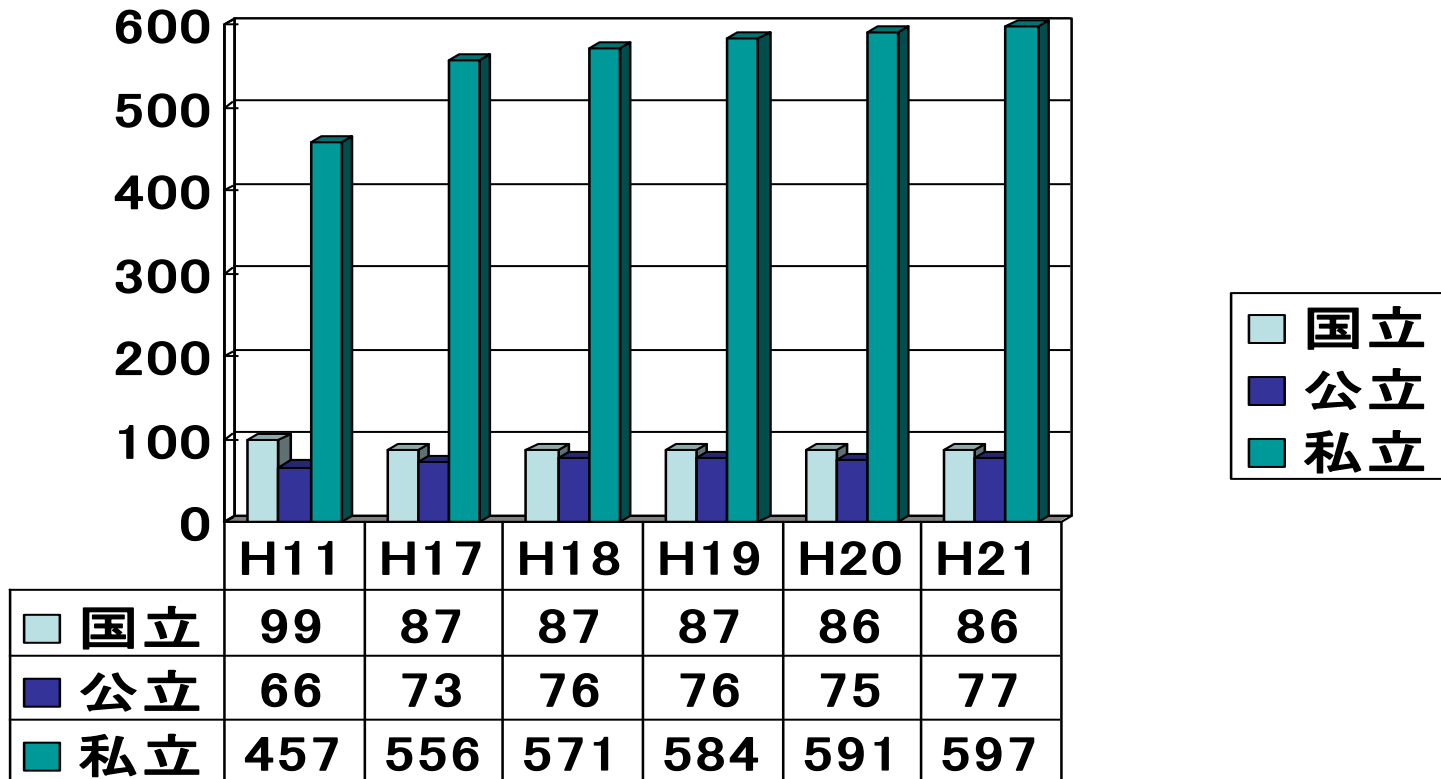
1. 大学を取り巻く状況
2. 大学図書館の政策
3. 大学図書館の現状
4. 大学図書館の課題
5. 今後の対応策

1. 大学を取り巻く状況

- 国立大学、公立大学の法人化
- 護送船団方式→規制緩和・競争原理の導入
- 大学の数の増加と18歳人口の減少
- 人員、予算の減少、業務委託の拡大
- 情報通信技術の進展
- 目標管理、評価制度の導入

大学数の推移

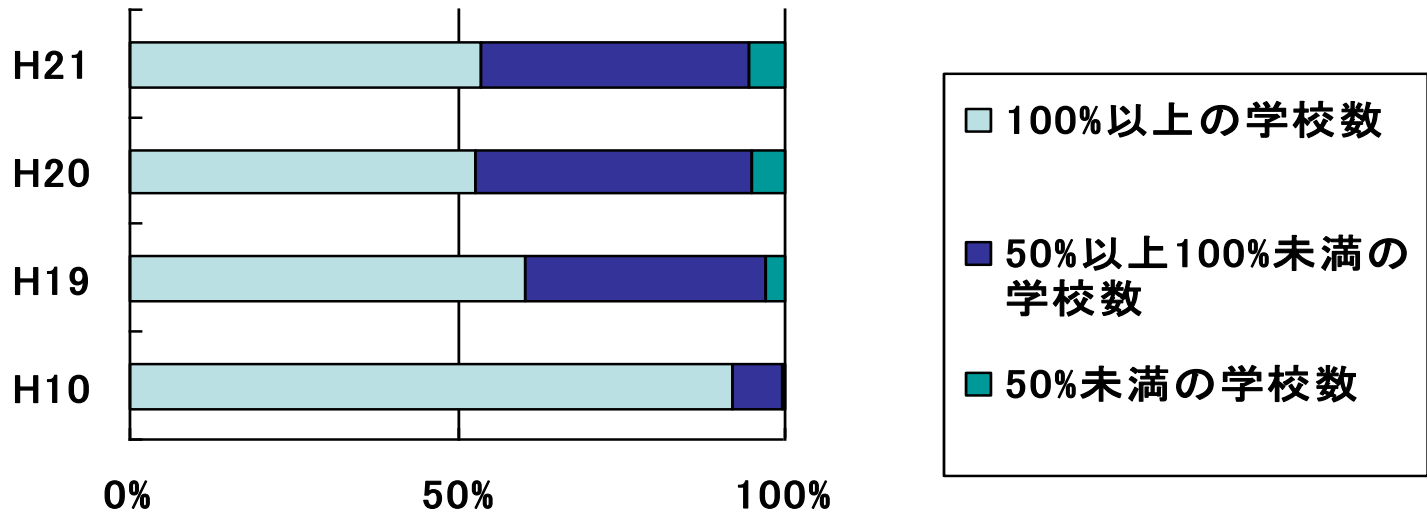
学術情報基盤実態調査結果報告 平成21年度 文部科学省より



私立大学の定員割れ

「平成21年度私立大学・短期大学等入学志願動向」27頁より

定員割れ学校数の推移



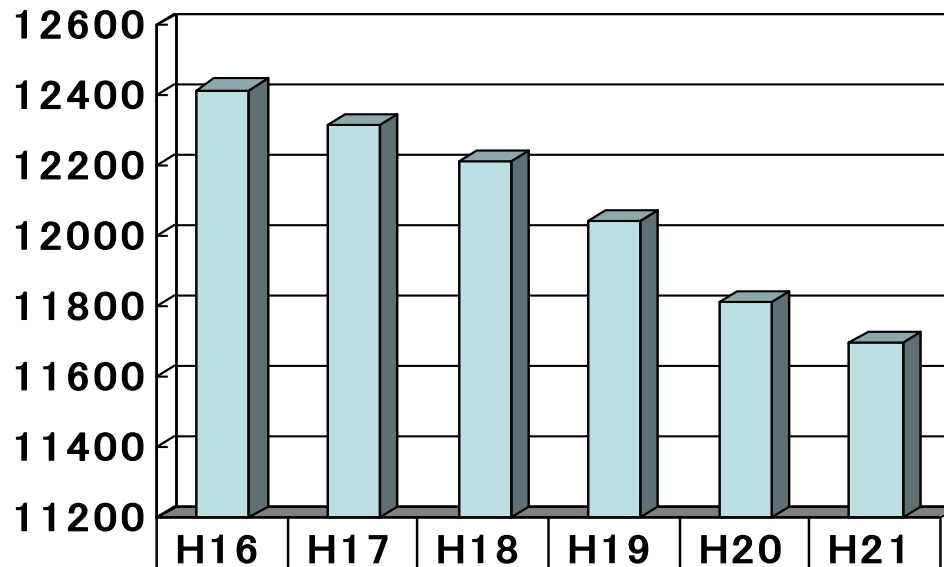
	H10	H19	H20	H21
■ 50%未満の学校数	1	17	29	31
■ 50%以上100%未満の学校数	34	205	237	234
■ 100%以上の学校数	404	337	299	305

国立大学の財政状況は

文科省ホームページより

国立大学法人運営費交付金

億円

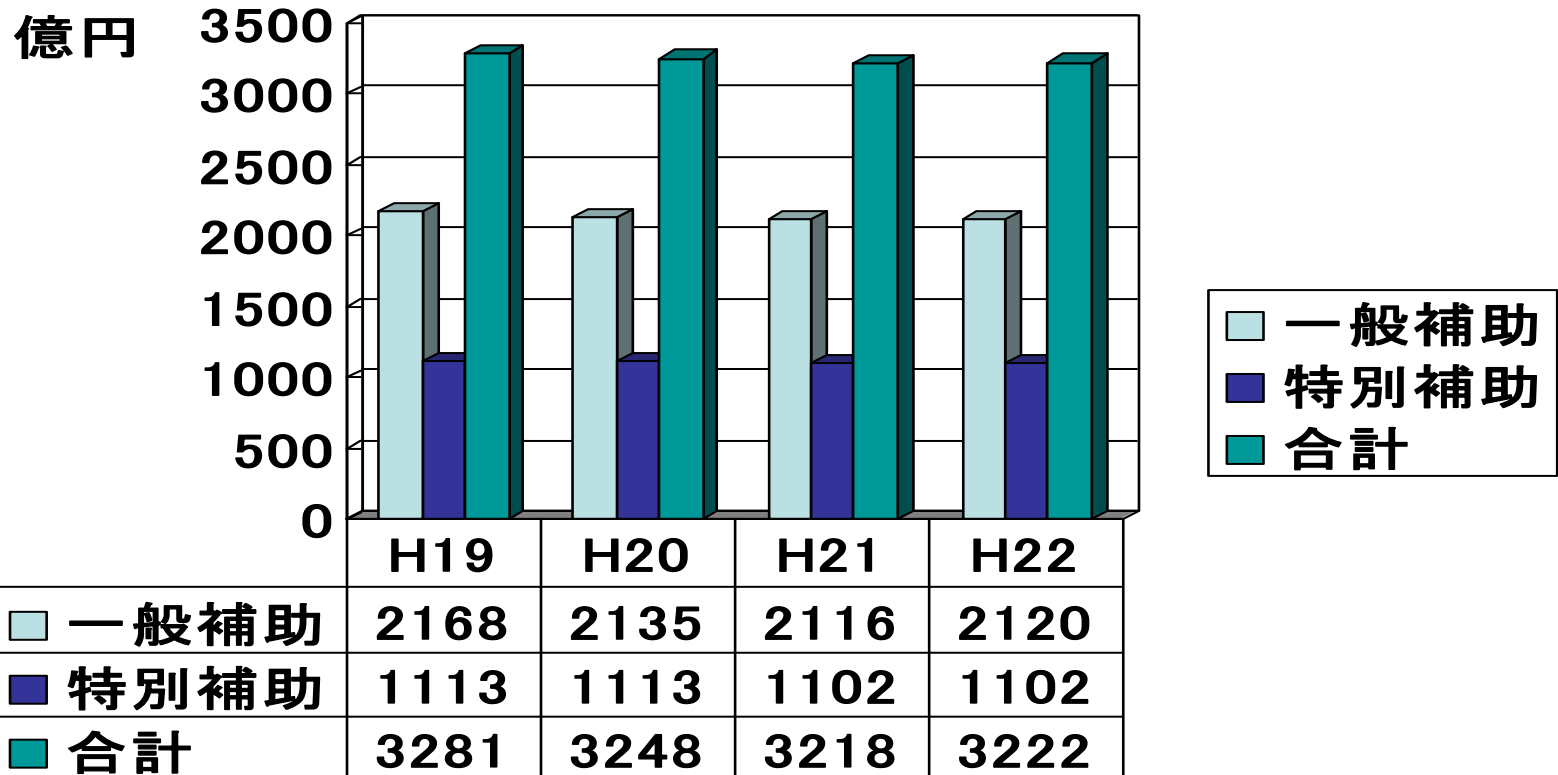


■ 運営費交付金	1241	1231	1221	1204	1181	1169
----------	------	------	------	------	------	------

国立大学法人運営費交付金は毎年1%削減

私立大学への補助金は

日本私立学校振興・共済事業団ホームページより



大学の収入と支出の内訳

平成22年度

	収入			支出		
	運営費交付金	学生納付金	その他	人件費	物件費	その他
東京大学	38.9%	8.3%	52.8%	34.3%	24.8%	40.9%
筑波大学	51.0%	11.8%	37.2%	47.8%	41.2%	11.0%
上越教育大学	73.8%	18.8%	7.4%	66.9%	26.3%教育 研究経費	6.8%
早稲田大学	13.0% (補助金)	69.9%	17.1%	44.2%	39.4%教育 研究経費	16.4%
首都大学 東京	56.2%	19.4%	75.6%	?	?	?

各大学ホームページより

2. 大学図書館の政策1

- 今後における学術情報システムの在り方について(学術審議会答申)1980年

学術情報システム構築の基礎となった答申

→ NACSIS-CATの稼動

1981年: 図書館専用計算機レンタル経費化

1983年: 文献情報センター設置

1986年: 学術情報センター設置(改組)

大学図書館の政策2

- 大学図書館機能の強化・高度化の推進について(学術審議会報告)1993年
 - 大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について(学術審議会建議)1996年
- 1995年: 図書館高度化経費(奈良先端大)
- 1997年: 先導的電子図書館プロジェクト(筑波、京都、東京工業、神戸、図書館情報)

大学図書館の政策3

- 学術情報の流通基盤の充実について(審議のまとめ)2002年
- 学術情報発信に向けた大学図書館機能の改善について(報告書)2003年
- 学術情報基盤の今後のあり方について(報告)2006年
- 大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)ー電子ジャーナルの効率的な整備及び学術情報発信・流通の推進ー2009年
- 2011年？

「学術情報基盤の今後のあり方について」の概要 1

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会

Ⅱ.学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について

1.基本的な考え方

- ・学術情報基盤は総合的・戦略的整備が必要

2.大学図書館の現状

- ・大学図書館の基本的な役割
- ・電子化の急激な進展
- ・増大する大学図書館の負担

3.大学図書館を取り巻く課題

- ・大学図書館の財政的基盤が不安定
- ・電子化への対応の遅れ
- ・体系的な資料の収集・保存が困難
- ・図書館サービスの問題点

「学術情報基盤の今後のあり方について」の概要2

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会

4. 今後の対応策

- ・大学図書館の戦略的な位置づけ
- ・電子化への積極的な対応
- ・今後の電子化への対応を踏まえた大学図書館の強化すべき機能
- ・全国の大学図書館に対する基盤としての目録所在情報サービスの枠組みの強化
- ・大学図書館のサービス機能の強化
- ・大学図書館と社会・地域との一層の連携の推進

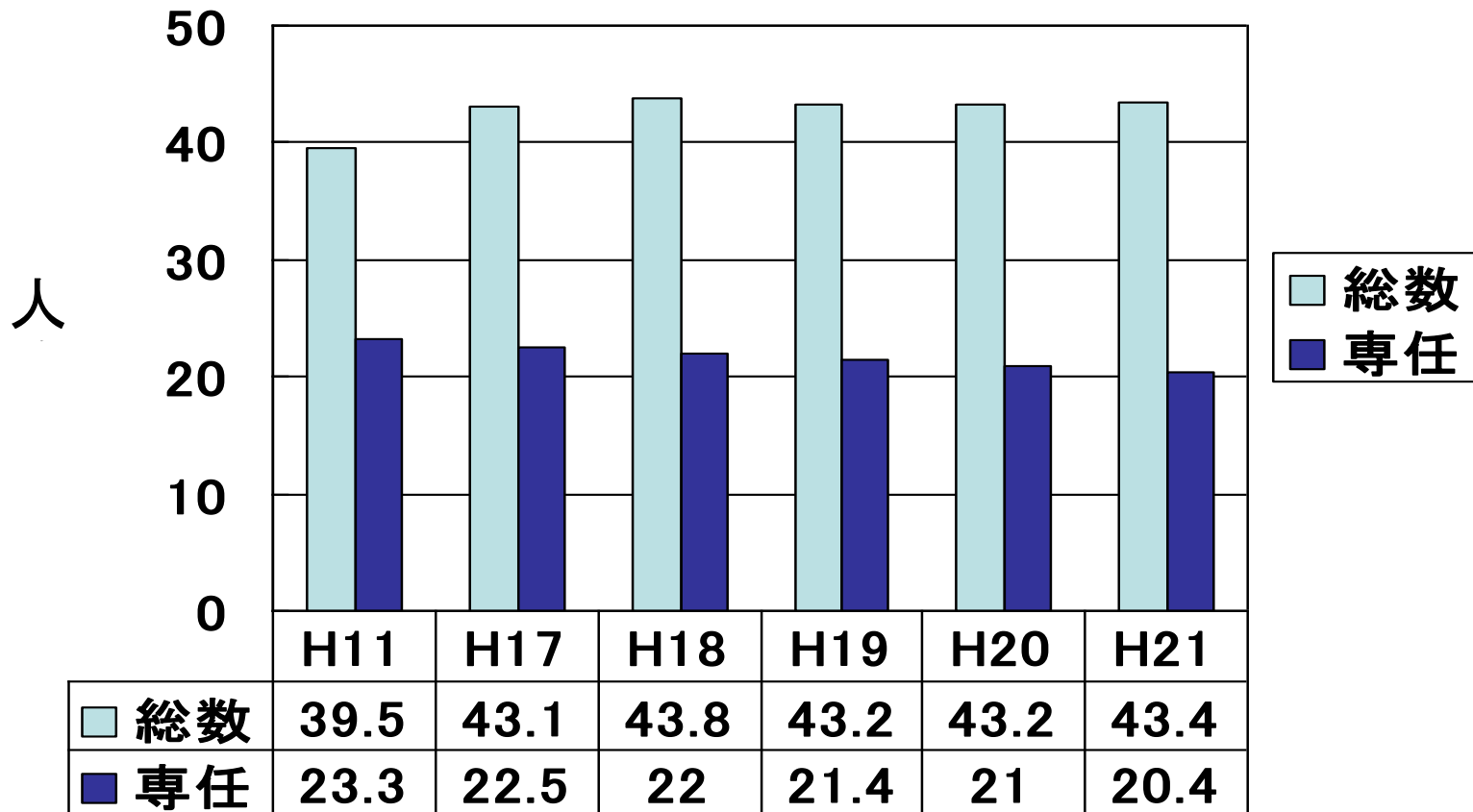
3.大学図書館の現状

平成21年度学術情報基盤実態調査結果報告より

- 職員
- 資料
- 予算
- サービス
- 電子ジャーナル利用可能タイトル数
- 機関リポジトリ構築大学数
- アウトソーシング

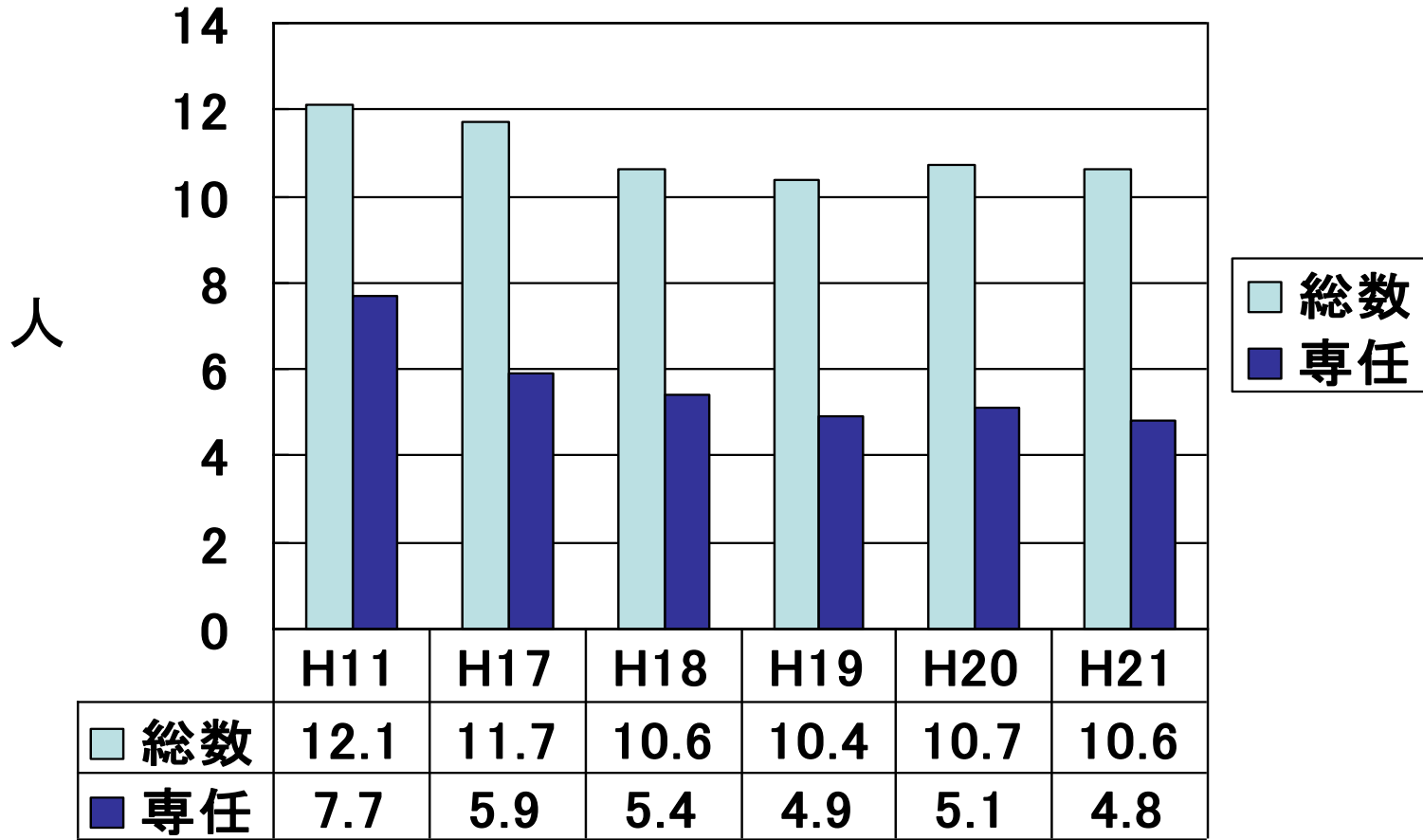
職員数(国立大学)

一大学平均



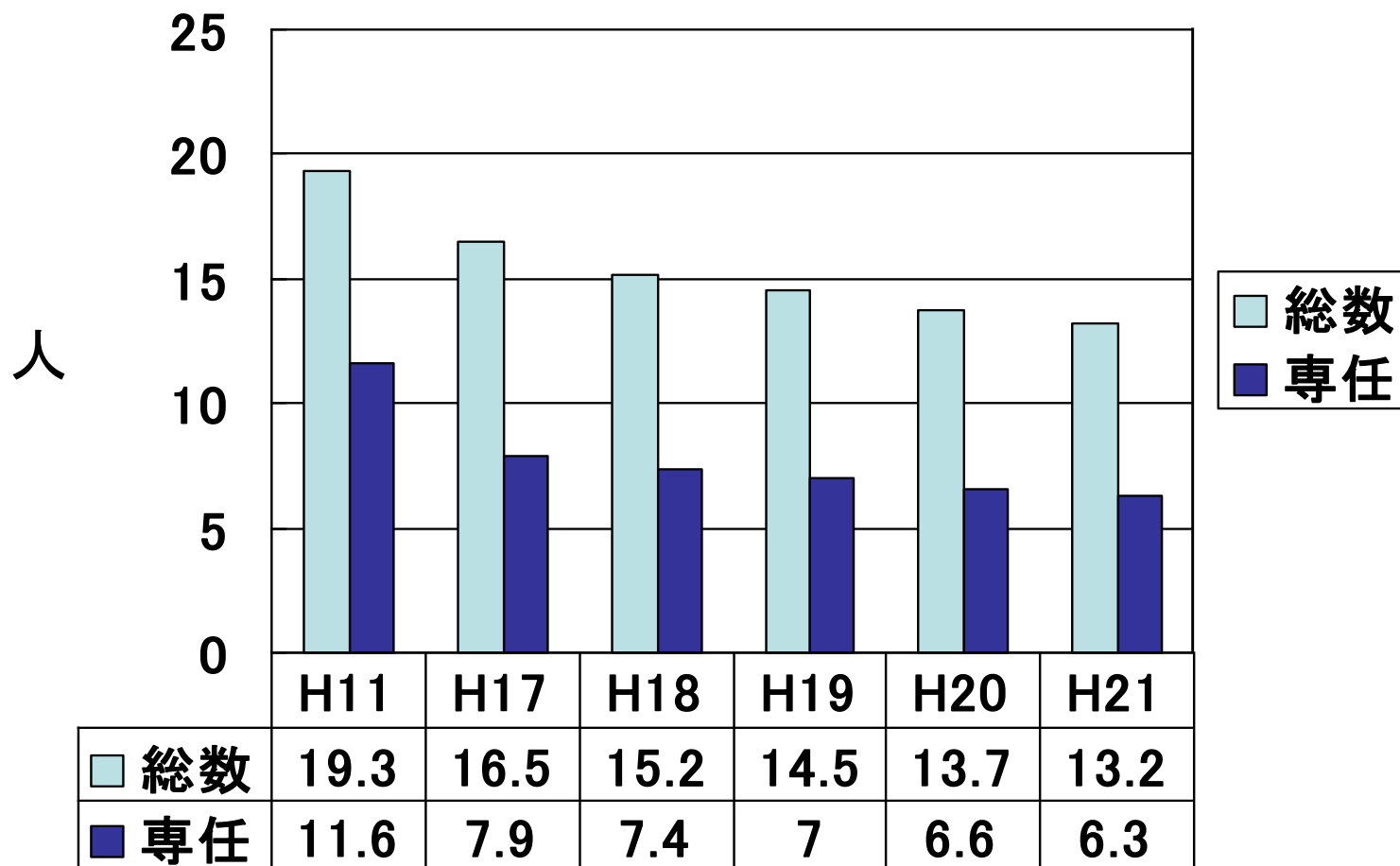
職員数(公立大学)

一大学平均



職員数(私立大学)

—大学平均



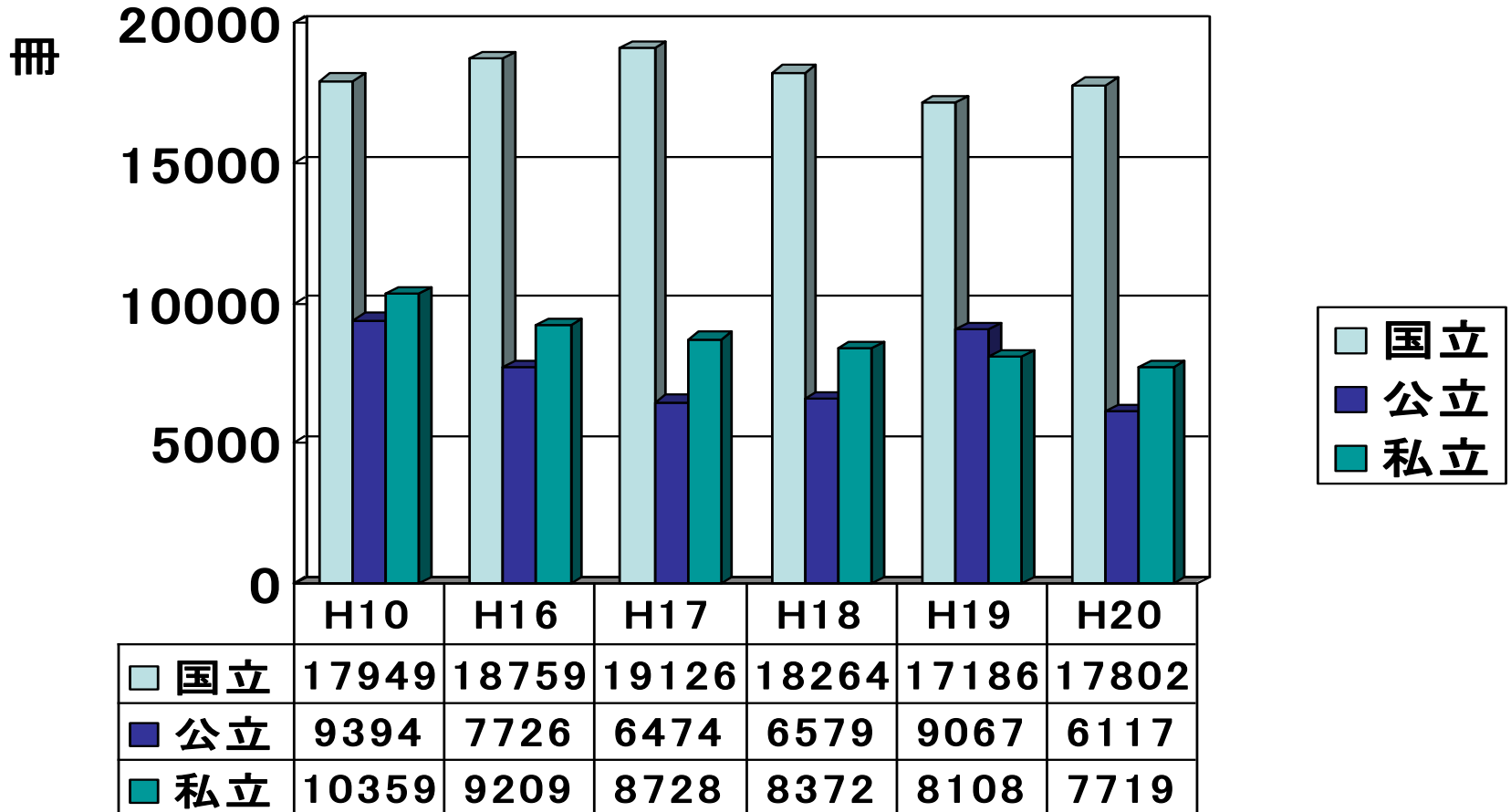
業務委託の状況

文科省「学術情報基盤実態調査」「大学図書館実態調査」

業務の内容	平成15年			平成20年		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立
目録所在情報DBの作成	17	24	127	25	23	264
原文情報DBの作成	2	3	39	11	3	50
コンピュータの運用	5	29	208	25	24	239
複写	4	9	37	20	8	115
製本	68	52	395	149	44	469
受付・閲覧	16	16	96	36	26	228
清掃	73	62	386	185	85	524
警備	54	56	304	136	66	402
その他	22	12	43	41	26	102
合計	261	254	1635	628	304	2393
				2.4倍	1.2倍	1.5倍

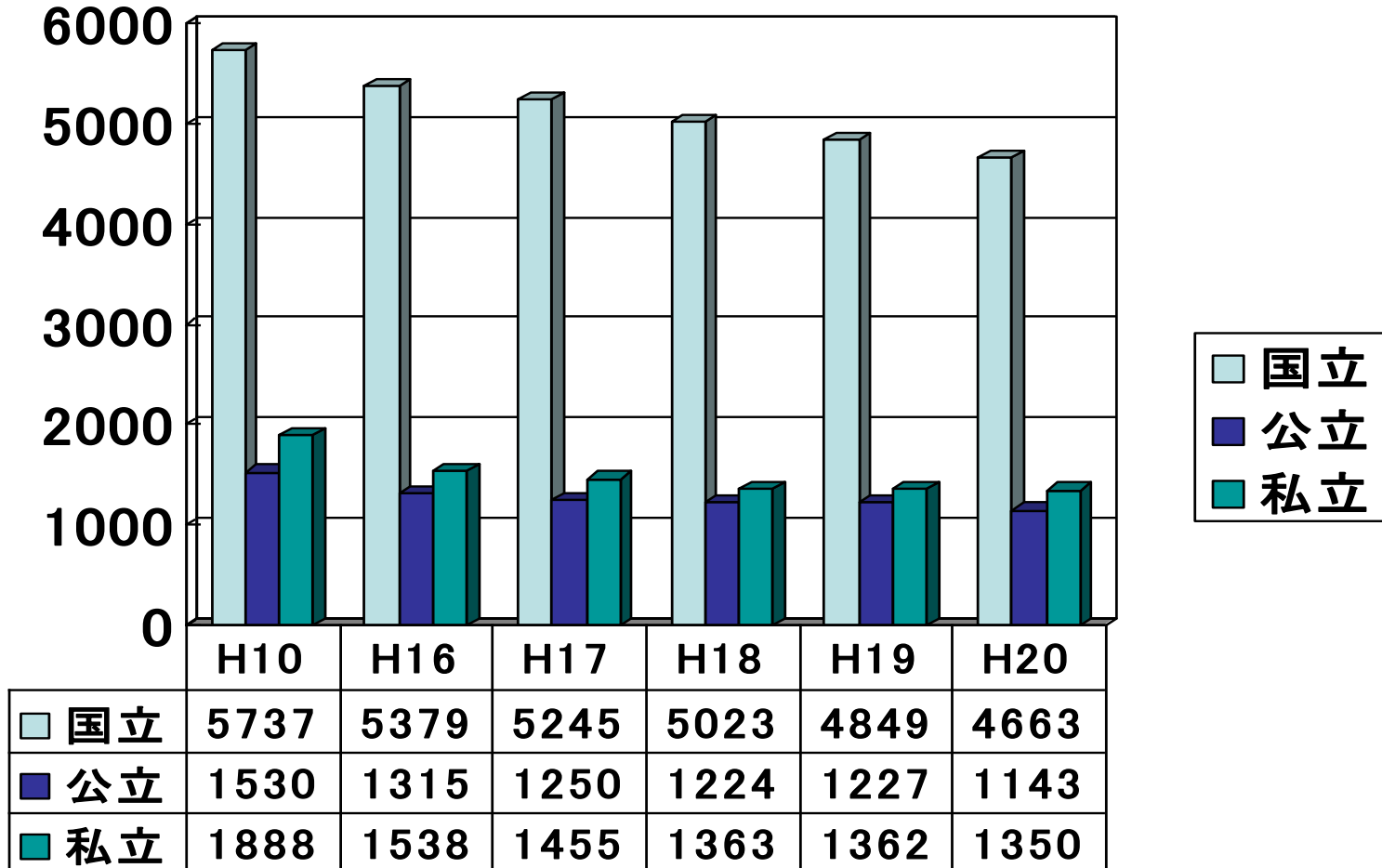
図書受入冊数

—大学平均



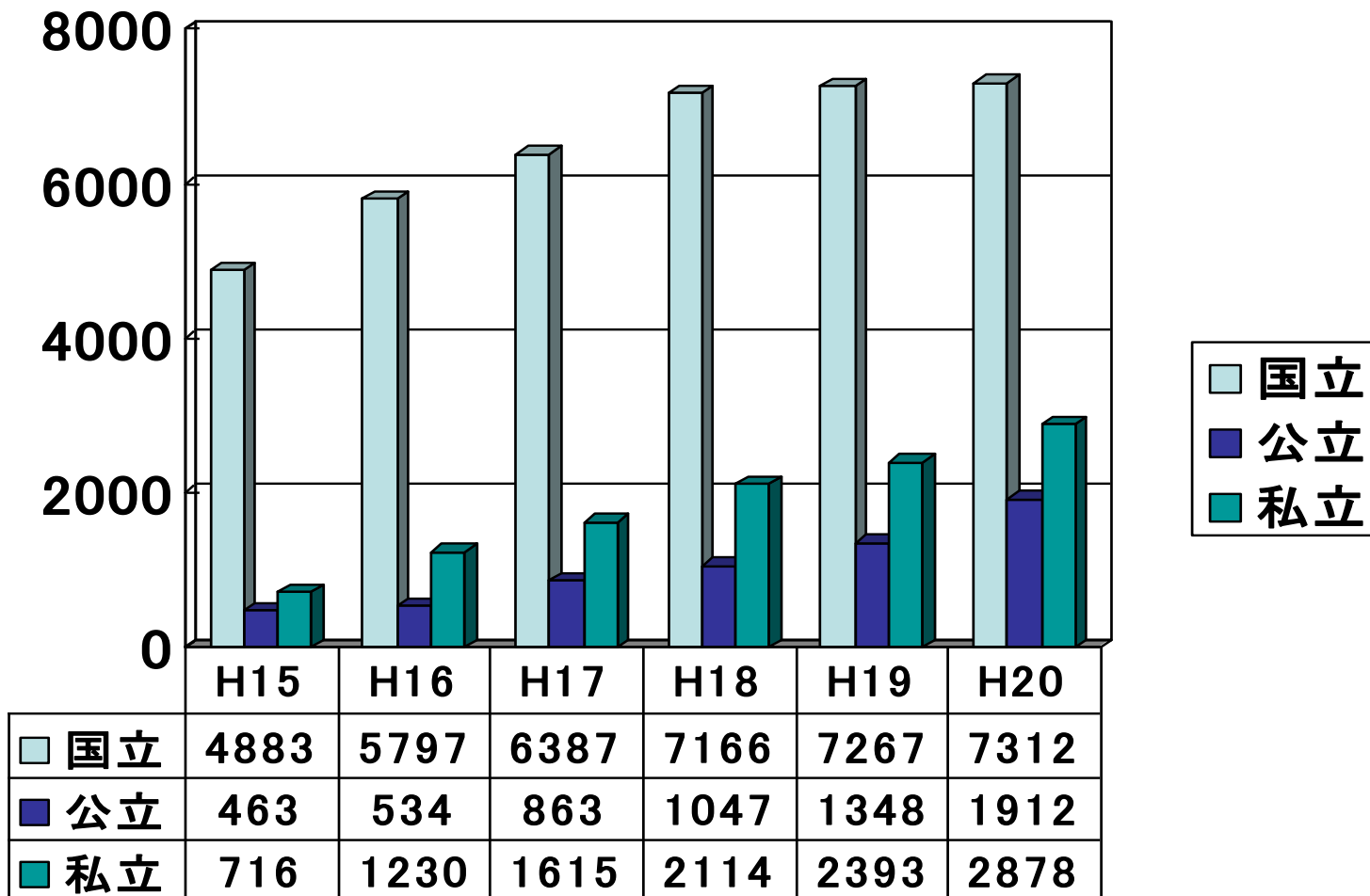
雑誌受入種類数

—大学平均



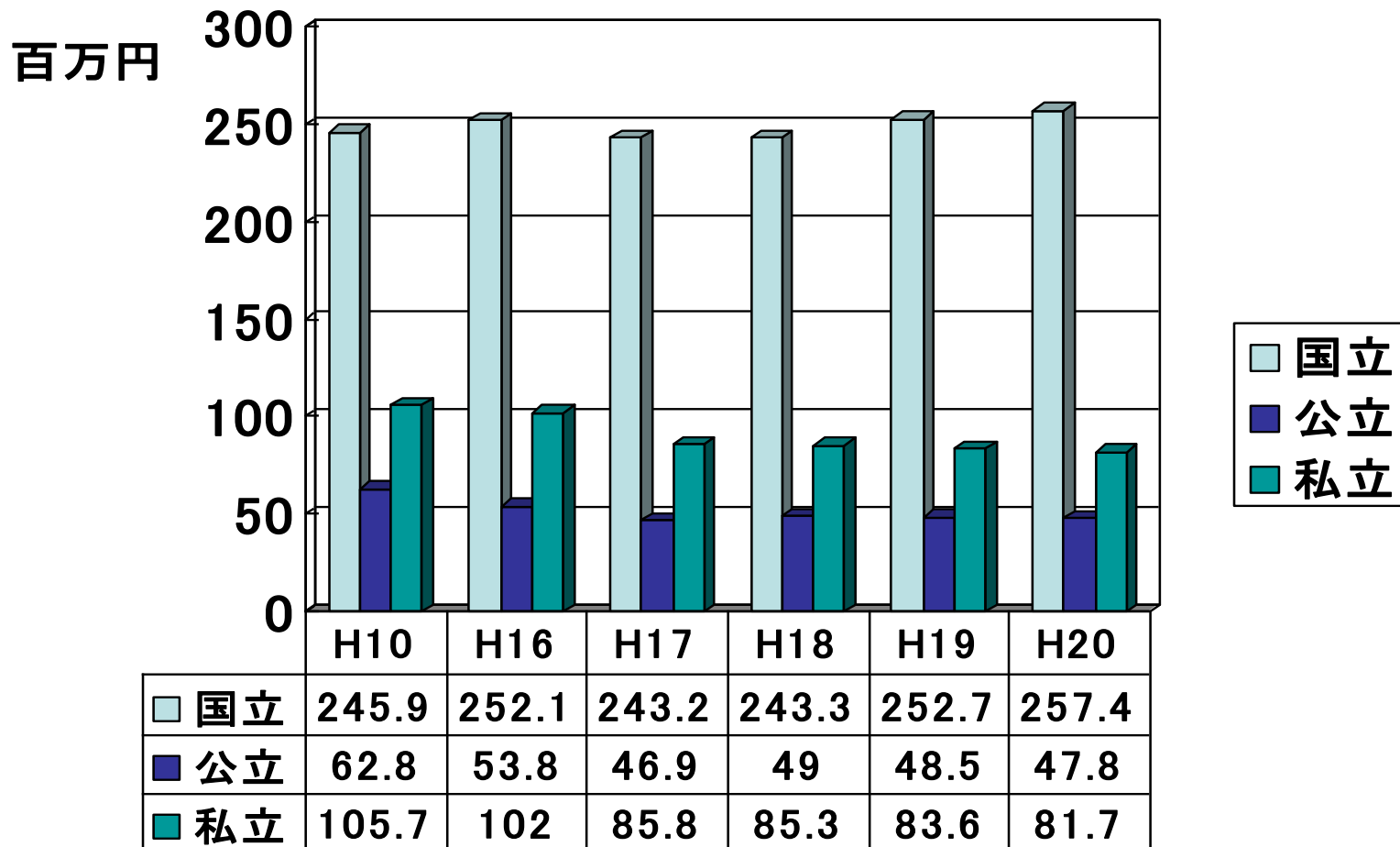
電子ジャーナル利用可能タイトル数

—大学平均



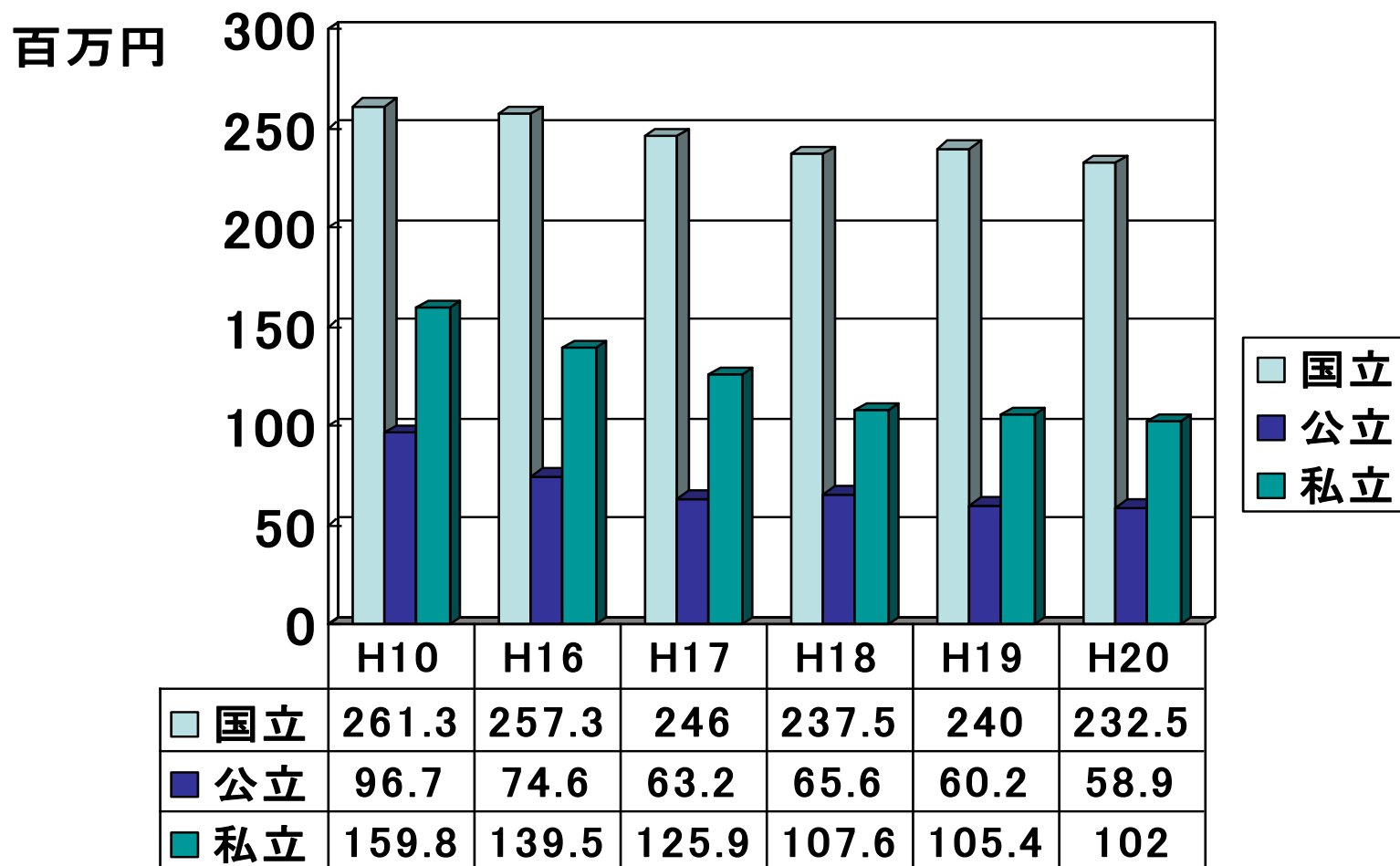
図書館資料費

—大学平均



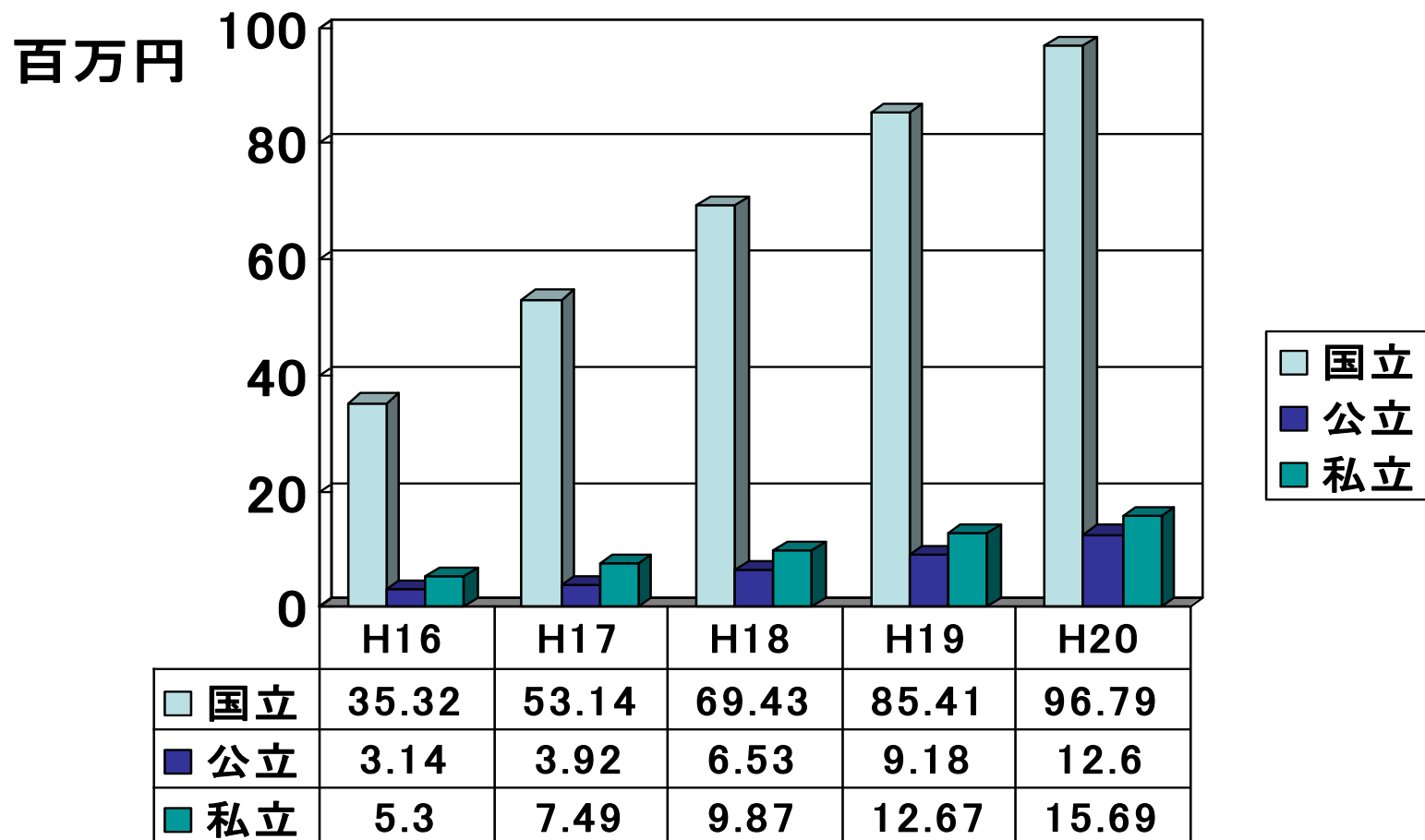
図書館運営費

—大学平均

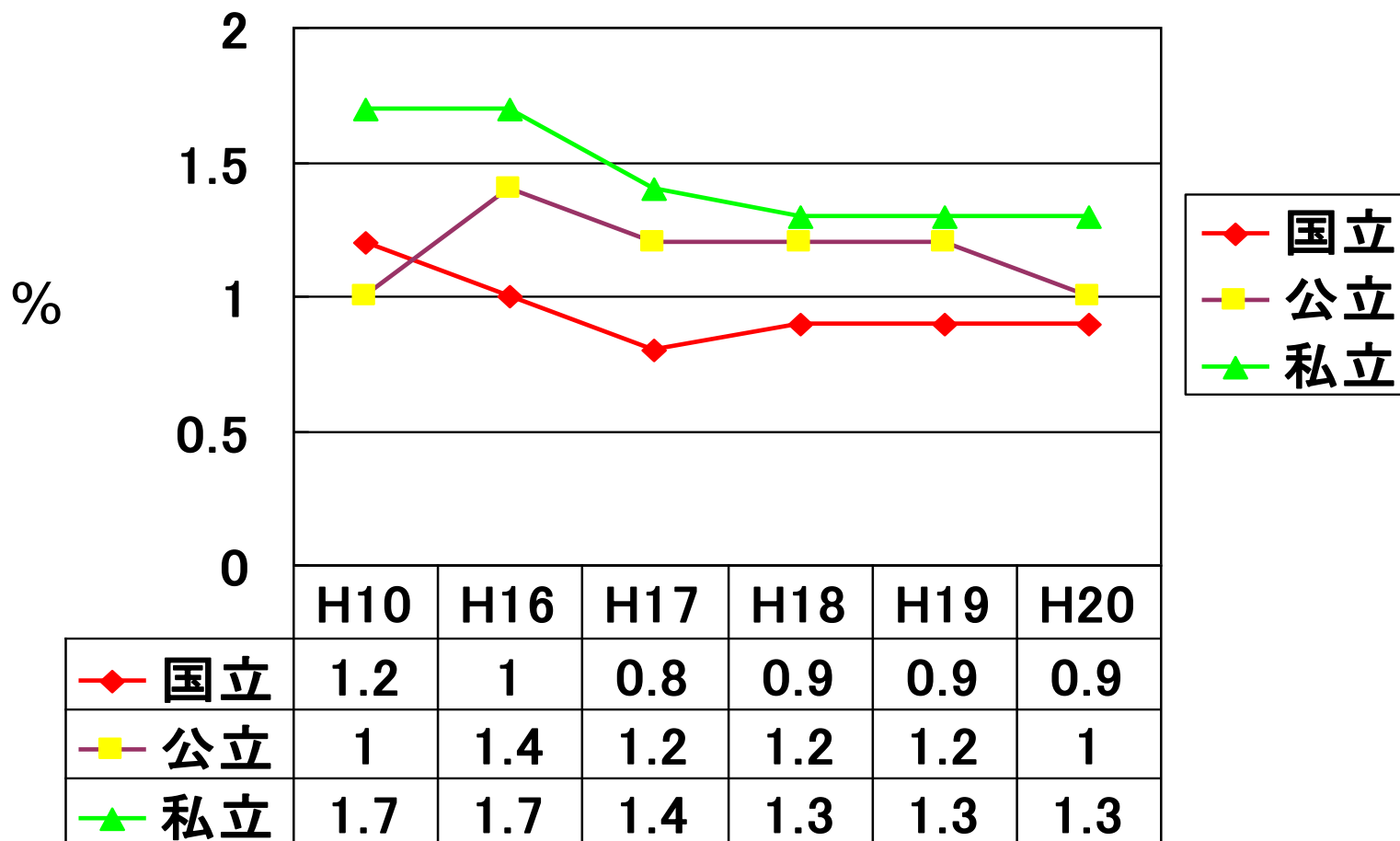


電子ジャーナル経費

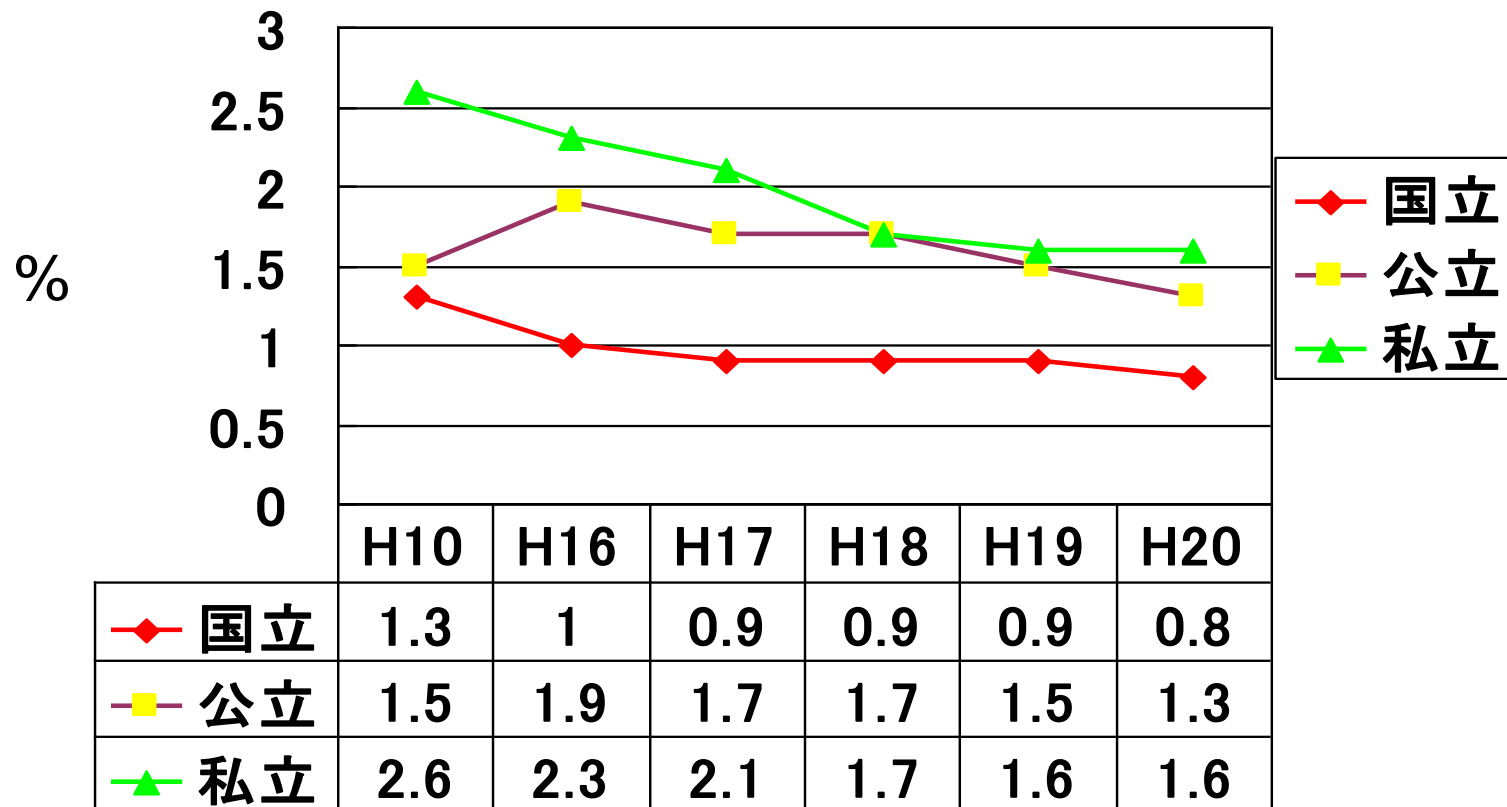
—大学平均



大学総経費に占める図書館資料費の割合

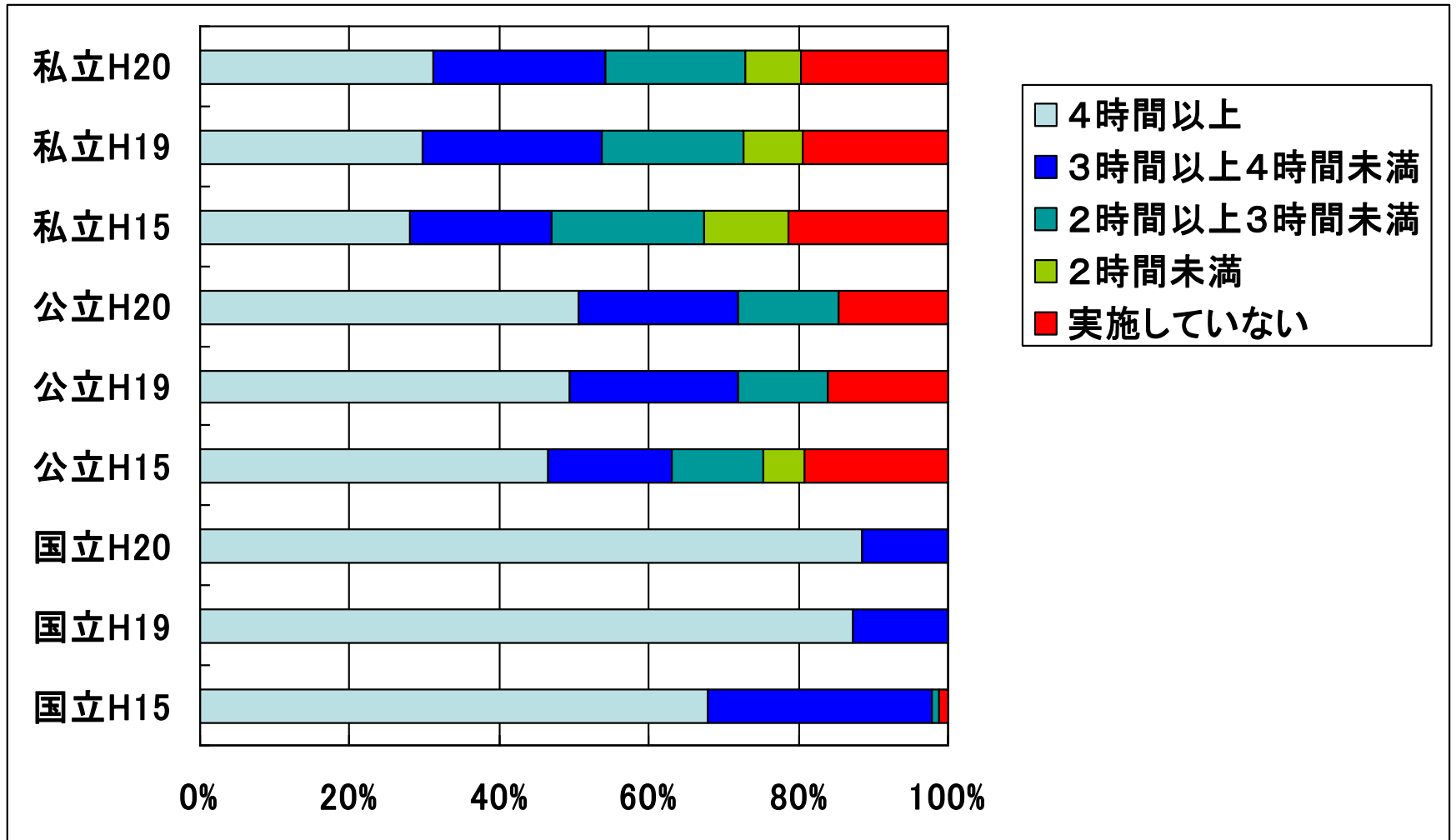


大学総経費に占める図書館運営費の割合



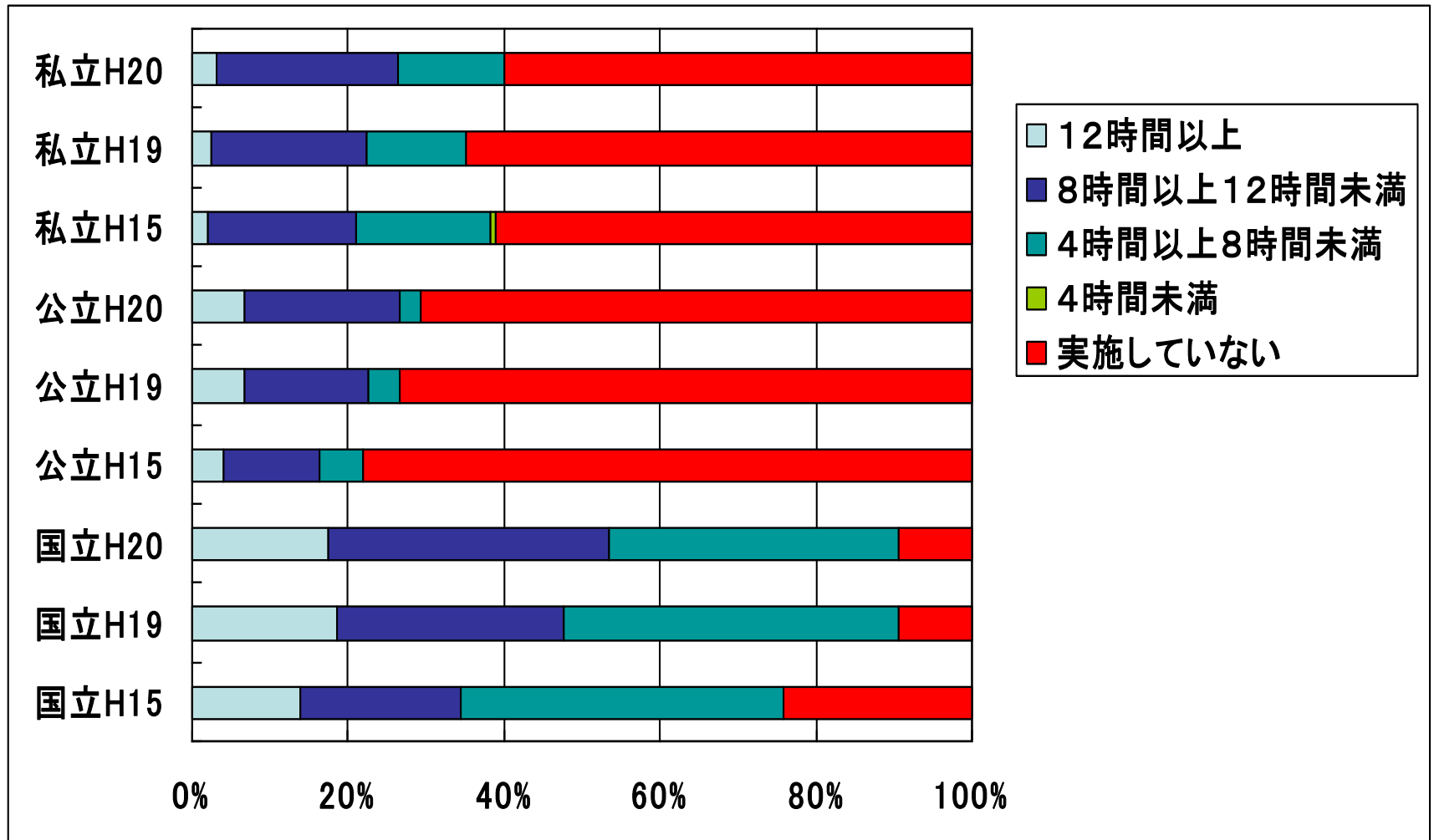
平日時間外開館実施状況

中央図書館

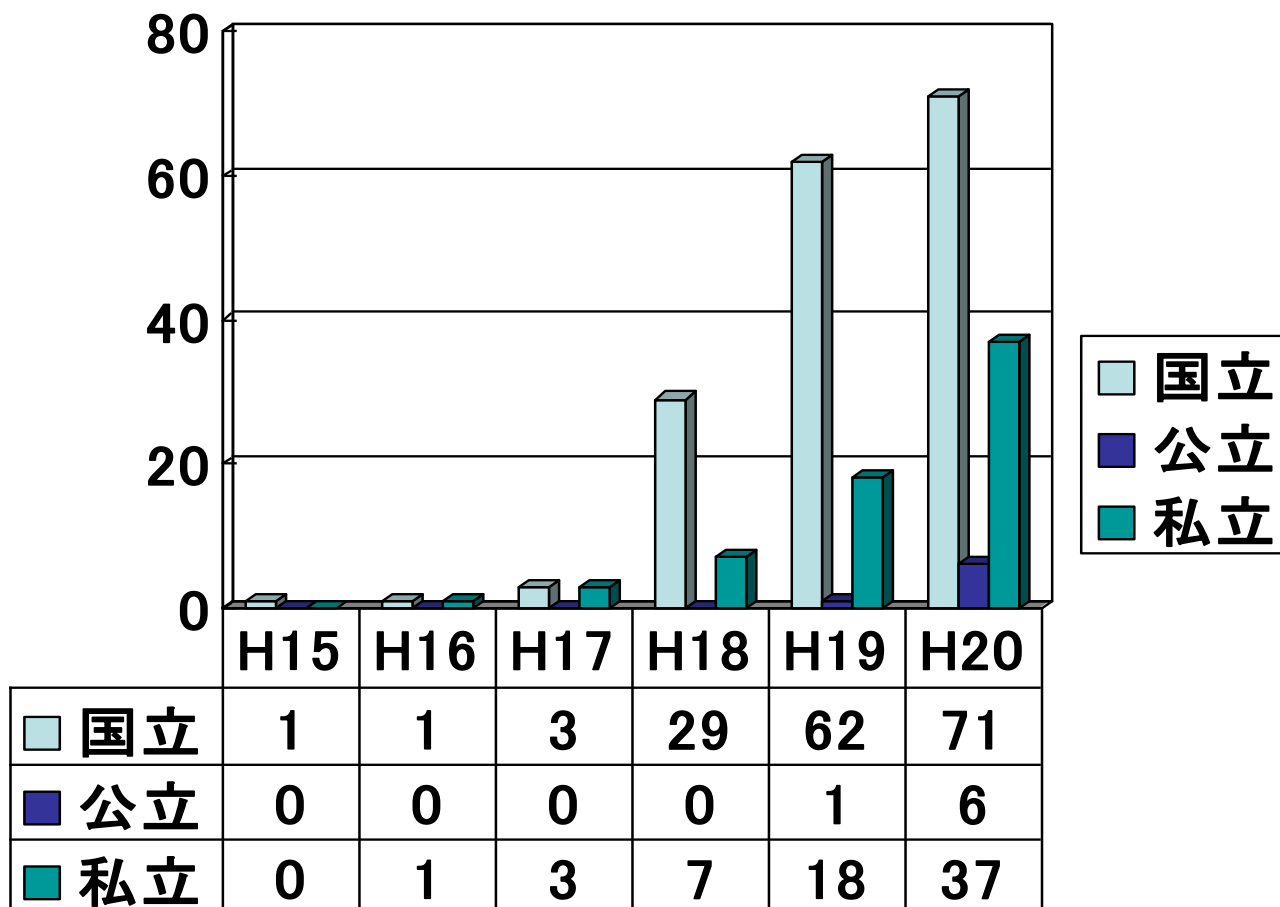


休日開館実施状況

中央図書館

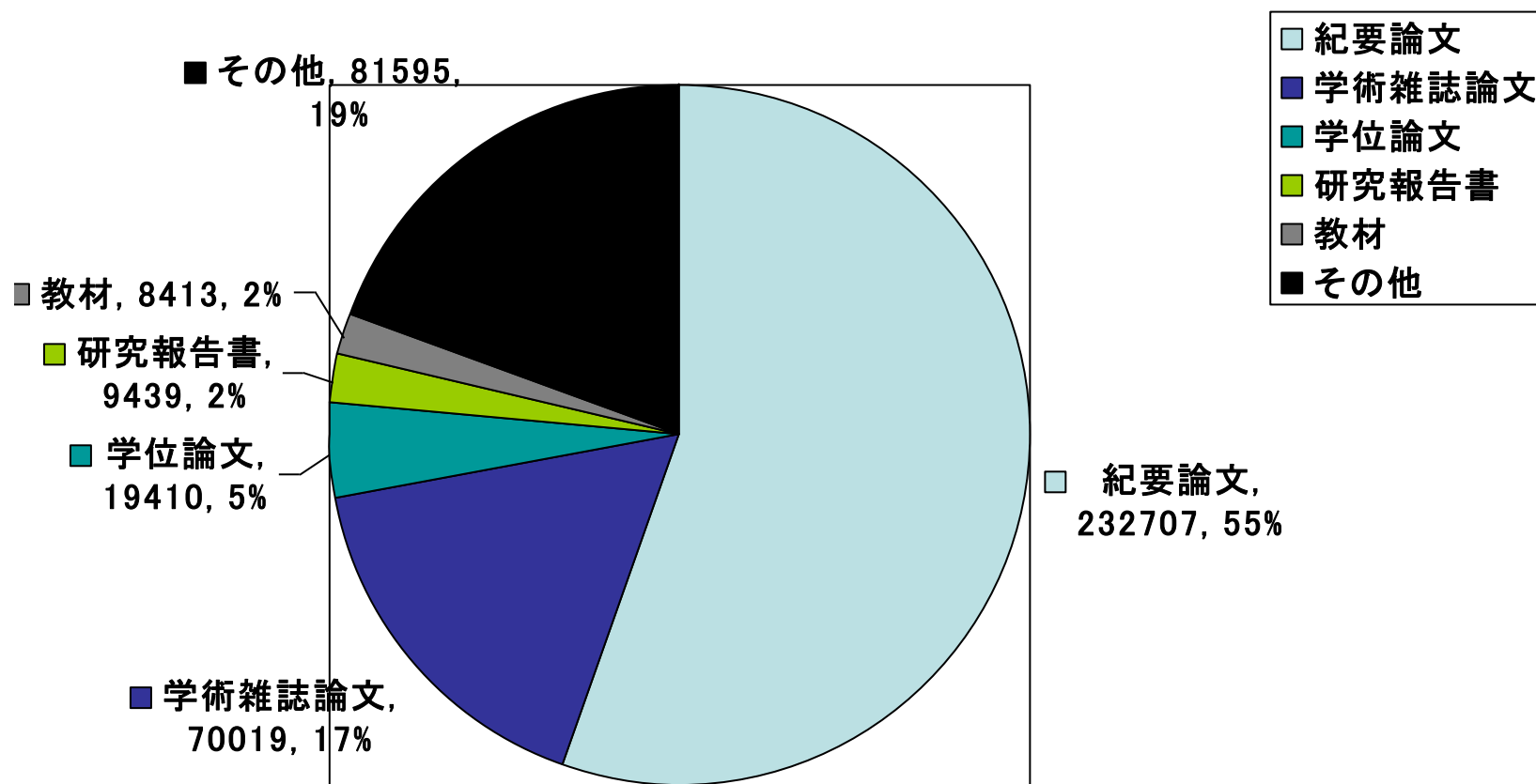


機関リポジトリ構築大学数



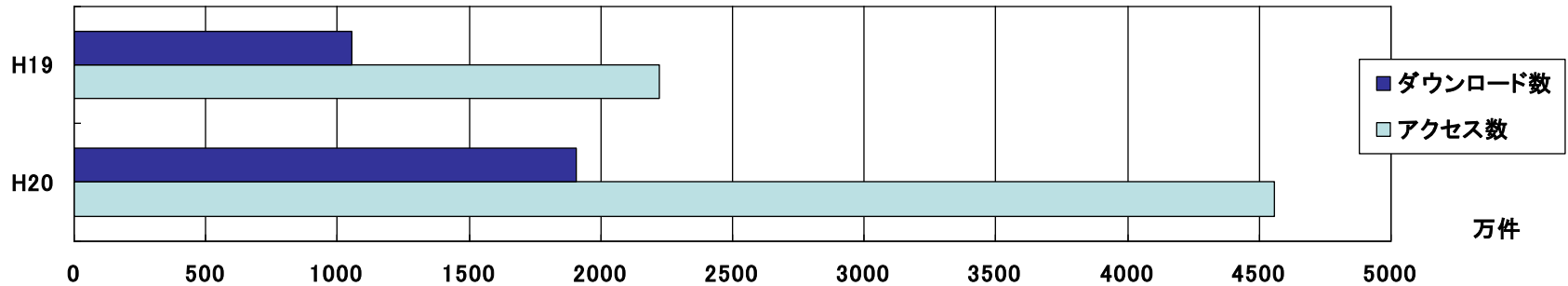
機関リポジトリのコンテンツ数

平成20年度末現在

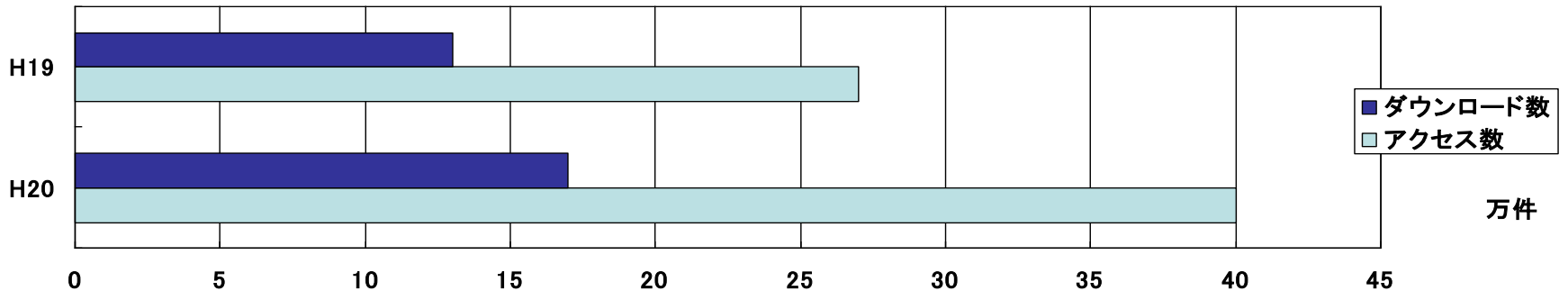


機関リポジトリの利用状況

総数



一大学あたり



4. 大学図書館の課題

平成21年度学術情報基盤実態調査より

調査対象：国立86、公立77、私立597、合計760大学

平成21年5月1日現在

- 組織、人員における課題
- 経費における課題
- 設備における課題
- 運営・サービスにおける課題
- 外国雑誌及び電子ジャーナルにおける課題
- 機関リポジトリにおける課題

組織・人事面における課題

1.専門性を有する人材の養成、確保	83.4%(634)
2.職員のキャリアパスの確保	30.8%(234)
3.専任館長、教員、専任職員の確保	30.1%(229)
4.非常勤職員・外部委託職員の活用	24.9%(189)
5.その他	4.8% (36)

経費面における課題

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1.外国雑誌・電子ジャーナル購入にかかる経費の確保 | 71.6%(544) |
| 2.図書購入にかかる経費の確保 | 62.1%(472) |
| 3.図書館施設設備にかかる経費の確保 | 46.3%(352) |
| 4.外部資金の獲得 | 17.4%(132) |
| 5.図書館経費の学内共通経費化の推進 | 11.8% (90) |
| 6.その他 | 4.5% (34) |

設備面における課題

- | | |
|---------------------|------------|
| 1.資料所蔵スペース狭隘化の解消 | 77.2%(587) |
| 2.資料保存・劣化防止のための環境整備 | 30.7%(233) |
| 3.閲覧座席数の確保 | 26.3%(200) |
| 4.自動化のための設備整備 | 23.7%(180) |
| 5.その他 | 13.8%(105) |

運営・サービス面における課題

1.利用者サービスの向上	76.4%(581)
2.情報リテラシー教育の充実	53.6%(407)
3.大学図書館の位置づけの明確化	51.8%(394)
4.電子情報の提供・保存環境の強化	48.4%(368)
5.社会・地域との連携の強化	33.8%(257)
6.その他	4.1% (31)

外国雑誌及び電子ジャーナルにおける課題

1.購入予算の確保	81.4%(619)
2.購読種類の学内調整	39.9%(303)
3.収集方針	34.6%(263)
4.購読種類減少	24.5%(186)
5.共通経費化の学内調整	15.0%(114)
6.契約交渉	14.7%(112)
7.外部資金活用の学内調整	9.5% (72)
8.その他	5.3% (40)

機関リポジトリにおける課題

①機関リポジトリを構築している大学(114大学)

1.コンテンツの確保(著作権処理を含む)	89.5%(102)
2.実施体制の維持	71.1% (81)
3.運営資金の確保	43.0% (49)
4.その他	6.1% (7)

機関リポジトリにおける課題

②構築する方向で検討している大学(219大学)

1.実施体制の整備	70.3%(154)
2.学内合意形成	65.8%(144)
3.コンテンツの確保(著作権処理を含む)	61.2%(134)
4.運用指針の策定	56.6%(124)
5.運用資金の確保	50.2%(110)
6.システムの構築	49.3%(108)
7.その他	5.0%(11)

機関リポジトリにおける課題

③構築する予定が無い大学(427大学)

- | | |
|----------------|------------|
| 1.専門知識のある人材が不足 | 62.3%(266) |
| 2.運営資金の確保が困難 | 57.6%(246) |
| 3.その他 | 27.8%(119) |

5. 今後の対応策

- 1) 図書館機能の充実・強化
 - 大学図書館の位置づけの明確化
 - 組織・運営体制の強化
 - 財政基盤の強化、共通経費化の推進
- 2) 図書館職員の確保・育成・資質向上
- 3) 事務改善、業務の効率化
- 4) 利用者サービスの向上
- 5) 社会・地域との連携